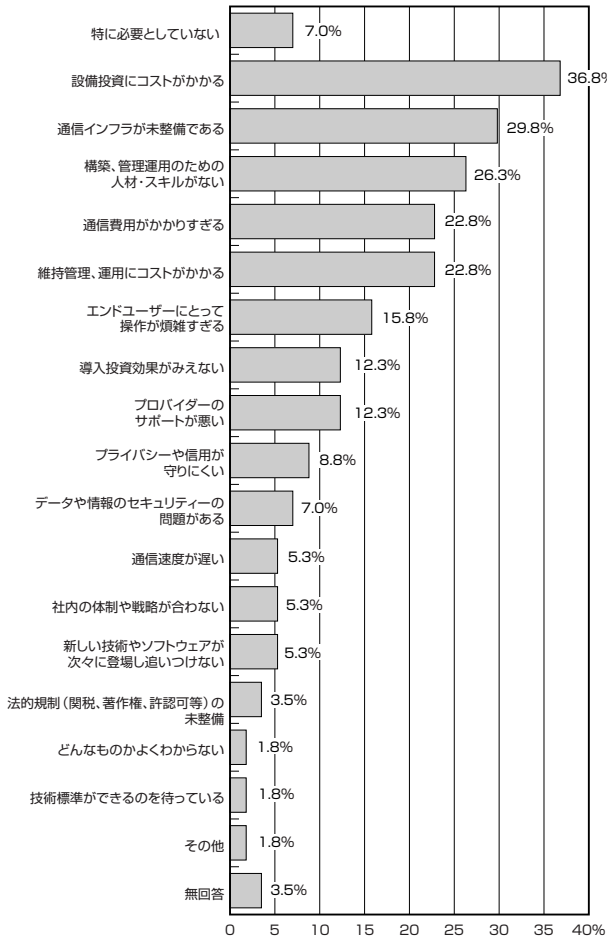
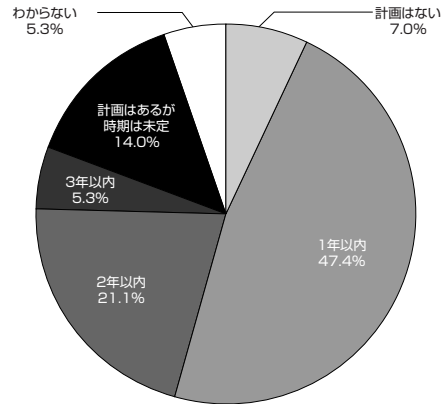


資料 1-4-5 参考：インターネット非利用理由 N=57



インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

資料 1-4-6 参考：インターネット技術利用の計画 N=57



インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

## 解説

ると全体の53.3%を占め、インターネットの歴史と共に企業の利用歴も長くなってきている。また、従業員規模別でみると5000人以上の企業で利用歴「10年以上」が2割を超えており、総じて大企業のインターネット導入が早かったことがわかる。

### ■非利用企業

今年は初めて、現在インターネット技術を導入していない企業の状況に関するデータも掲載する。しかし導入企業と比較して回答数は少ないのであくまでも参考データとする。

インターネットの非利用理由で最も多い

のは「設備投資にコストがかかる」(36.8%)である。2位の「通信インフラが未整備である」(29.8%)と合わせて考えると、主に通信環境に関する投資コストへの懸念が非利用の理由と考えられる。3位には「構築、管理運用のための人材・スキルがない」(26.3%)が挙げられており、これも非利用の大きな要因の1つになっている。1企業当たりの非利用の平均理由数は2.30と多く、非利用には複合的な理由がある。投資コストの問題は、利用企業でも課題として挙げるところが多く、インターネット導入、非導入を判断する際のコストに関しては回

答企業ごとに判断の基準が大きく異なるという。一方、「特に必要としていない」という回答も7.0%みられ、これは従業員規模が0～9人の企業に多い。

非利用企業の今後のインターネット技術利用の計画については、「1年以内」に利用する計画がある企業が半数近くに上り、現在非利用の企業でも導入意向が強い。ただし、ここでも回答サンプルの母集団が小さいことと、関心の高い企業ほど回答率が良いという点を考慮しなくてはならないだろう。(矢野さよみ アクセスメディアインターナショナル株式会社)



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)